



白樹

HAKUJU

白樹会だより 第26号

令和4年8月1日

発行／山梨県立大学看護学部同窓会 白樹会

編集／白樹会編集委員会



ホームページに最新情報を随時更新しております。
住所変更もこちらからお願い致します。



会員と共に



公立大学法人 山梨県立大学
看護学部同窓会「白樹会」会長
山梨県立高等看護学院看護第一学科

26期生 小川 忍

会員の皆様におかれましては、ご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃から白樹会活動にご支援、ご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

全世界で新型コロナウイルスの感染拡大が進み、もう3年が経過しました。山梨においても感染者数の高止まりで先が見通せない状況が続いています。

このような中、人との関係が希薄になり孤独感を抱えている人が多く、こころの病を抱え命を絶つ人も出ています。

また、世界に目を向けるとロシアからウクライナへの攻撃で多くの命が失われています。

私たち看護職は、命と向き合い責任の重い現場で働いているからこそ、人の命の重さ・尊さを痛感しています。

このように大変な時だからこそ、「看護のこころ」を大切に、人との距離はとつても心はつながりを切らさずに、一人でも多くの命が失われないことを祈るばかりです。

改めて、会員の皆様がそれぞれの場

で尽力されていることに心から敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げます。

昨年度は、母校の学生がコロナ禍でも、よりよい環境の中で勉学に打ち込めるように空気清浄機2機を贈呈しました。その他に学生への食糧支援、大学院講師用の飲料水を贈呈等新たな取り組みも行いました。

今後も、同窓会としての支援の在り方を考え、取り組みたいと考えています。その内容は白樹会のホームページに随時掲載しますのでご覧いただきたいと思います。

定期総会につきましては、ここ2年はリモートで開催し、記念講演も実施できませんでしたが、今年度は定期総会・記念講演を対面とリモートで実施する方向で検討を重ねています。

同窓会としましても、より会員相互の連帯を深め母校の発展に寄与できるように、役員一同一丸となり、白樹会活動を展開していきたいと思っております。

今後も皆様方の変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。

あいさつ



公立大学法人 山梨県立大学
看護学部同窓会「白樹会」事務局長
山梨県立大学看護学部

教授 前澤 美代子

皆さまには日頃より同窓会活動に對するご理解とご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げます。私たち事務局員一同は、会長副会長とともに同窓会の皆さまの活動や学生の支援、白樹会活動の「見える化」に取

り組んでまいりました。具体的には、ホームページや同窓会誌「白樹」の質の向上、大学のキャンパスの環境整備、さらに、新型コロナウイルス(COVID-19)感染の影響による生活困難な学生に対しての食糧生活物資の支援などを行いました。寄付金の規定も作成し、検討を重ねております。

母校にとって同窓会が必要不可欠な存在となるよう、役員・事務局員一同、心一つにして同窓会を発展させて参る所存です。また、同窓会の機能や同窓生のネットワークを存分に活用し、母校発展と地域社会貢献の一翼を担いたいと考えております。皆さまにおかれましても、これまで以上に白樹会の活動に関心を持っていただき、主体的かつ積極的に参画していただけますよう心からお願い申し上げます。



2021-2022年事業計画

- | | | |
|----------------|------------------------|-----------------------------|
| 1) 通常総会開催 | 4) 山梨県立大学看護学部行事への参加・協力 | 8) 白樹会ホームページによる広報活動 |
| 2) 講演会 | 5) 在学生への支援活動 | 9) その他 |
| 3) 同窓会誌『白樹』の発行 | 6) 在学生との交流事業 | ①リレーフォーライフジャパン2022甲府への支援・参加 |
| | 7) 白樹会基金設立 | ②山梨県立大学大学院看護学研究科生への支援 |

2021年度 同窓会役員

| | 氏名 | 所属・役職名 | 卒業期 |
|------|-------|----------------------------|-----------------|
| 名誉会長 | 早川正幸 | 公立大学法人山梨県立大学 学長 | |
| 名誉会員 | 松野かほる | 前山梨県立看護大学 学長 | |
| | 林 滋子 | 前山梨県立看護大学・山梨県立看護大学短期大学部 学長 | |
| | 望月 勲 | 前山梨県立看護大学短期大学部 学部長 | |
| | 松下由美子 | 前山梨県立大学看護学部 学部長 | |
| | 佐藤悦子 | 前公立大学法人山梨県立大学看護学部 学部長 | |
| | 流石ゆり子 | 前公立大学法人山梨県立大学看護学部 学部長 | |
| | 村松照美 | 前公立大学法人山梨県立大学看護学部 学部長 | |
| 顧問 | 名取初美 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 学部長 | |
| 会長 | 小川忍 | 甲府市役所福祉保健部 | 看1科26回生 |
| 副会長 | 市川佳子 | 山梨大学医学部附属病院 | 県立大4回生 |
| | 大森泉 | 東京西徳洲会病院 | 看護大9回生・県大院8回生 |
| 監事 | 山本美代子 | 自宅 | 看1科15回生・保健科16回生 |
| | 齊藤けさ子 | 自宅 | 看1科15回生・保健科16回生 |

| 卒業学校名称 | 略称 | 卒業学校名称 | 略称 | 卒業学校名称 | 略称 |
|--------|-----|--------|------|---------|-----|
| 看護第1学科 | 看1科 | 看護第2学科 | 看2科 | 看護大学大学院 | 看大院 |
| 保健学科 | 保健科 | 看護短大 | 看護短大 | 県立大学大学院 | 県大院 |
| 看護第2学部 | 看2部 | 看護大学 | 看護大 | | |
| 看護第3学部 | 看3部 | 県立大学 | 県立大 | | |

2021年度 同窓会事務局

| | 氏名 | 所属 | 卒業期 |
|------|-------|---------------------------|---------------------------|
| 事務局長 | 前澤美代子 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 看1科34回生 |
| 書記 | 飯嶋玲奈 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 県立大5回生 県大院12回生 |
| | 横内理乃 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 看1科32回生 |
| 会計 | 高取充祥 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 県立大1回生 |
| | 三澤みのり | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 看1科41回生・保健科42回生 県大院2回生 |
| 事務局員 | 大久保知香 | 山梨県福祉保健部北保健福祉事務所 | 看護短大6回生 |
| | 小沢めぐみ | 峡南医療センター富士川病院 | 看護短大6回生 |
| | 五味瞳 | 公益財団法人山梨厚生会 山梨厚生病院 | 看護短大5回生 |
| | 星野麻子 | 山梨県立育精福祉センター | 看護短大4回生 |
| | 渡邊優 | 国民健康保険富士吉田市立病院 | 看護大5回生 |
| | 井出和子 | 医療法人のだ内科クリニック | 看2科10回生 |
| | 三枝享 | 公立大学法人山梨県立大学看護学部 | 県立大3回生 |
| | 見高智香 | 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 | 県立大1回生 |
| | 木村友里 | 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 | 県立大10回生 |
| | 奥田悠祐 | 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 | 県立大11回生 |
| | 樋口知香 | 山梨大学医学部附属病院 | 県立大11回生 |
| | 山岸大賀彦 | 地方独立行政法人山梨県立病院機構 山梨県立中央病院 | 県短大3回生 |
| | 小林美南 | 国民健康保険富士吉田市立病院 | 県立大11回生 |
| | 望月志保美 | 山梨大学教育学部附属中学校 | 看1科40回生・保健科41回生 |

白樹会一般会計決算報告 (2020.10-2021.9)

| | | |
|--------|-----------|---|
| 収入総額 | 2,949,529 | 円 |
| 支出総額 | 1,873,185 | 円 |
| 差し引き残額 | 1,076,344 | 円 |

〈収入の部〉

(単位 円・△減)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----------|-----------|-----------|----------|----|
| 繰越金 | 1,069,520 | 1,069,520 | 0 | |
| 入会金及び終身会費 | 2,000,000 | 188,000 | △120,000 | |
| 雑収入 | 10 | 9 | △1 | |
| 合計 | 3,069,530 | 2,949,529 | △120,001 | |

〈支出の部〉

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----|-----------|-----------|------------|----|
| 会議費 | 200,000 | 95,415 | △104,585 | |
| 事業費 | 1,500,000 | 1,213,008 | △286,992 | |
| 事務費 | 280,000 | 118,377 | △161,623 | |
| 賃金 | 50,000 | 0 | △50,000 | |
| 慶弔費 | 50,000 | 10,000 | △40,000 | |
| 予備費 | 989,530 | 436,385 | △553,145 | |
| 合計 | 3,069,530 | 1,873,185 | △1,196,345 | |

白樹会特別基金決算報告 (2020.10-2021.9)

| | | |
|--------|-----------|---|
| 収入総額 | 5,010,718 | 円 |
| 支出総額 | 0 | 円 |
| 差し引き残額 | 5,010,718 | 円 |

〈収入の部〉

(単位 円・△減)

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|----|----|
| 前年度繰越金 | 5,010,675 | 5,010,675 | 0 | |
| 利息 | 44 | 43 | △1 | |
| 合計 | 5,010,719 | 5,010,718 | △1 | |

〈支出の部〉

| 項目 | 予算額 | 決算額 | 増減 | 備考 |
|-----------|---------|-----|----------|----|
| 被災学生等支援費等 | 200,000 | 0 | △200,000 | |
| 合計 | 200,000 | 0 | △200,000 | |

*細目等はページ構成の関係ですべて記載できない為、白樹会ホームページより総会資料をご確認ください。

会計 三澤みのり、高取充祥

今年度の事業1

【学生支援事業】

新型コロナウイルス感染症蔓延に伴い、食料や日用品の支援、Airdogを寄附しました。



学生の活動のためのチューター費を
学部長にお贈りしました。



聖灯祭のための支援金を
実行委員長にお贈りしました。



白樹会からの支援に感謝！！

白樹会からのご支援があったことで、チューターミーティングや、2・3年生実習頑張ろう会、4年生を送る会など様々なチューター活動を通して、活発な学生間交流を開催することができました。コロナ禍によるアルバイトの制限やオンライン授業など、多くの制限がある中でも、このように上級生・下級生交えて学生間の交流が継続できたことは、大先輩である白樹会の皆様からのご支援のおかげであり、私たち学生にとって、とても大きな支えでした。この感謝の気持ちを伝えたいと思い寄稿させて頂きました。本当にありがとうございました。

9チューター 大桃 唯華 (2021年度卒業生)

【合格祈願・卒業記念品贈呈】

国家試験合格を祈って鉛筆を贈りました。



【構内環境整備】



新入生の入学に合わせて花壇を整備しました。

【学生入会ガイダンス】

小川会長が学部生と大学院生に向けて
入会の説明を行いました。



「祈り」

看護師
保健師
助産師
養護教諭

臨床現場における患者と

家族の繋がりについて

富士吉田市立病院 4西病棟 看護師 三浦 真樹

看護師

コロナ禍での看護を通して

山梨大学医学部附属病院 鶴田 由麻

看護師

新型コロナウイルス感染症が流行してから2年半以上が経ちましたが、現在もお変異を続け、先が見えない状況にあります。

私がコロナ病棟への支援が決まった時、コロナウイルスで苦しむ患者様の看護が出来るのか、自身も感染してしまおうのではないかと不安と恐怖で一杯でした。コロナ病棟では、呼吸器を装着している患者様、孤独を感じている患者様など様々な状況に置かれている患者様がいました。私は患者様を傍で励まし、心身の支えになる事が出来るよう看護を行い、その際の「ありがとう」という患者様からの言葉は今でも忘れません。

コロナ禍での看護は様々な制限や苦痛を強いられている状況です。私は看護職者の一員として、コロナウイルスと闘いながら患者様の命を守り、より良い生活を送る事が出来るよう精進しています。医療の発達・開発が進み、コロナウイルスに脅かされる事なく、皆が自由に安心して暮らせる日々になる事を心から祈っています。



受け渡しさえも看護師が仲介するという徹底された環境の中で入院生活を送ってもらっています。

入院された後、患者さんが家族と会うことができるのは、退院される時、重要なインフォームドコンセントの時、危篤状態となった時とかなり限局されたものとなっています。このような状況が患者様、家族に与える影響は多く、患者様としては常に孤独を強いられる方々での療養生活となります。治療効果が得られる方

手を取り合って

ゆうき訪問看護ステーション 宇佐美 奈見

訪問看護師

新卒から訪問看護ステーションに従事し5年目になりました。看護師としての半分以上の時間が新型コロナウイルス感染症との付き合いになり、その影響を様々な場面で感じています。流行し始めたばかりの頃、医療機関で亡くなられた療養者様のお悔やみ訪問に伺った際、感染症の影響で親族と会わせてあげられなかった、と話されていたご遺族の姿が今でも目に焼き付いています。自分に何が出来るだろうと考える日々の中で、ある末期がんの療養者様の存在が今でも心に残っています。

も想像を超えるものだったと思います。あらゆる状況を想定し準備をしていましたが、最期は自宅で家族が揃う中、眠るように息を引き取られました。奇跡のような看取りで、在宅医療の可能性を感じられた経験でした。私自身はまだまだ未熟ですが、手を取り合い支え合うことで可能性は広げられると実感しました。一刻も早く感染症が収束することを祈りながら、地域の方々が可能限り望む生き方ができるよう、微力ながら尽力していきたいと思えます。



母子支援に向けた私の祈り

山梨県立中央病院 総合周産期母子医療センター 岡 千尋 助産師

感染対策に伴う様々な制限により、集団指導が出来なくなつて早2年が経ちます。代わりの策としてDVDを作成し個別で視聴してもらう等、現場では試行錯誤して妊産婦に必要な支援を実践しています。必要な事柄の伝達は出来ているように感じますが、実際に同じ境遇にある妊産婦や家族の交流の場が持てない事で、妊娠、出産、育児に対する妊産婦の心の持ちようは何か変化しているように感じます。孤独感や莫大な不安を抱きやすい環境下では受け身な姿勢が誘発されますが、安産のためには産婦自身が分娩に対して積極的に心と体の準備に取り組めるよう継続した支援が必要です。また女性だけではなく、その家族が喜びや幸福感を感じ、安心して育児生活を送れる環境が戻ってくる事を心から祈りながら、専門職として専門性を極め、状況に応じたより良い支援について考えていきたいです。



コロナ禍を通して思うこと

笛吹市役所 子供すこやか部 子育て支援課 野口千明 保健師

私は現在、子育て支援課 母子保健担当保健師として働いています。新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2年前、本市でも従来行っていた保健事業の変更を余儀なくされました。今は、変化した事業が少しずつ軌道にのりはじめ、私自身もようやく環境に慣れてきたところです。日頃、訪問や健診でお会いするお母さん方からは、「マスク生活の中で育った子供は大丈夫なのだろうか」「ママ友と会うことすらできない」「同世代の子供同士が接する機会が減ってしまった」など長期化するコロナ禍ならではの不安が沢山聞かれるようになりました。保健師として、子育て家庭が少しでも安心して子育てをするためにできることは何だろうと悩み、保健師間で意見を出し合いながら過ごしています。以前と変わってしまった生活を通して、日常へのありがたみを強く感じます。早く日常が戻ることを祈りつつ、今あることへの感謝を持ちながら、日々を過ごしていきたいと思っています。



地域で生活する人を支えていく

峡南保健福祉事務所(峡南保健所) 向山恵理 保健師

私は現在、母子保健推進・難病対策・健康づくり業務等を担当する課に配属されています。新型コロナウイルス感染症に関しましては、濃厚接触者の検査や健康観察、体調不良時の受診調整、相談対応等に従事しています。

濃厚接触者は陽性者の体調の心配や自身の発症への不安、自宅待機により日常生活が一変することへの拒否感等様々な感情が生じます。また、第6波では自宅療養となる陽性者が多く療養の場が生活の場となるため、濃厚接触者の家庭内での感染予防策がより重要となりました。

年齢や職業、家族構成や家屋の状況等、対象者の生活背景を把握し、個々の状況に合わせた相談対応を行うことが不安の解消や安心した待機生活につながると思っています。今後も丁寧に対応したいと思います。今まで関わった方々の健康を祈りつつ、地域で生活する方がどのような状況にあってもその人らしく過ごしていけるよう、予防の視点を大切に保健師活動に取り組んでいきたいと思えます。



「いやなことはさっさとわすれてさ。ほがらかに笑っていればいいことあるよ。」

山梨大学教育学部附属中学校 養護教諭 望月志保美



附属中保健室では、ドラえもんが出迎えてくれる。保健室入口の連絡ボードに、漫画「ドラえもん」の1コマを、その日の気分を選んで掲示しているのだ。生徒が保健室前を通る時に、足を留めて一瞥する。「今日の言葉 子どもたちはどのように感じたかな？」私の微笑ましい一時になっている。

中学生は、自分自身の中に、周囲と異なる自分独自の世界があることに気づく年頃、まさに思春期の中にいる。「中2病」と揶揄されることがあるが、自己愛と客観的事実との狭間で悩んでいる。かわいらしい。「中学に来てから、リーダーになれない」「自分がどう思われているか怖い」「友達がつくれぬい」など、周囲の学力・リーダー性に対する劣等感、コミュニケーション能力の脆弱さ、親からの期待に対する負担を抱える生徒の来室が多い。そんな生徒に「ドラえもん」の言葉。

コロナ禍も含め、悩み多き時ではある。「ほがらかに笑っていればいいこともあるよ」、「ドラえもん」に私の気持ちを代弁させる。私は、祈りながら子どもたちを教室に見送る。

自然への畏怖と

その仕組みの解明に向けて



理事長・学長

早川 正幸

新型コロナウイルスSARS-CoV-2による感染症パンデミックは、デルタ株やオミクロン株などその変異体による感染の波を繰り返しつつ、未だ完全な終息には至らない曖昧な状況が続いています。これまでの間、白樹会会員の皆様には、医療看護の最前線に立ち日夜奮闘されておられることに、心から敬意を表します。

さて、「人類の歴史は感染症との闘いの歴史でもある」といわれています。古代日本において疫病は疱瘡神などの疫神のしわざとされ、流行時には神を祭って退散を祈る呪術的、宗教的な対処法がとられていました。疫病や火災などの災厄が村中に入らないよう、集落の界に幣束を立てる道祖神などの儀礼は今も行われています。

時代は変わり、現代では自然の仕組みを解き明かす科学が飛躍的な進歩をみせ、遺伝子組み換え技術など分子レベルの先端研究に基づき、有効なコロナワクチンや治療薬が次々と開発・実用化されています。感染管理に係る看護技術の革新もコロナ禍沈黙化への大きな要因となるでしょう。三十億年前にはこの地球に存在していたと推定されるウイルスの機能解明へのあくなき挑戦は、現代人の大きな使命であり疫病退散への祈りでもあるのです。

感謝とともに生きる



山梨県立大学看護学部 学部長 名取 初美

山梨県立大学看護学部同窓会白樹会の皆さまには、日頃から看護学部の教育および学生への多大なご協力・支援をいただき、感謝申し上げます。学生への食料品の提供やマスクの寄付などとともに、同窓会の先輩方からの温かい気持ちも一緒に届いているものと思います。

今回のテーマは「祈り」だと伺いました。祈りとは「生宣り」、つまり「生きることやいのちを宣言すること」、「自分の命に感謝し見守ってもらうこと」という考え方があるようです。私たちは今

まで経験したことのない世界に生きています。『平和』とか『普通』がいかに貴重であるかを感じているのではないのでしょうか。学生の皆さまには今あらためて生きていることへの感謝とともに専門職者としての知識・技術・態度を積み重ねていき、地域貢献できる看護者に育ってほしいと思っています。そしてそのために、私たち教職員一同は教育に取り組んで参ります。同窓会の皆さま、これからも温かく見守っていただき、ください。

時代を睨み、最善の看護を提供する

高度看護実践者の育成をめざして



山梨県立大学大学院看護学研究科 研究科長 遠藤 みどり

看護学研究科は開設から20年目を迎え、修了生は133名になりました。博士課程として2年目となった今年度の在籍学生は、前期課程が20名、後期課程が9名で、就業との両立を図りながら学びを深めています。未だ収束されない新型コロナウイルス感染症のパンデミックに曝されている状況下においては、看護提供を必要とする人々に心を馳せ、専心と誠意をもって最善を尽くす看護の専門職の真価が問われているとも言えます。

大学院での学びは最善の看護を提供するための実践力のみならず思考力や洞察力を養い、また学生や教員との討議を重ねながら看護実践現象の意

味付けや看護を学問として深く追究する機会になります。少子高齢化に伴う地域包括ケアシステムの構築の中で、看護を必要とする人々が、安心して暮らし続けられるようにするには、目先だけではなく将来を見据えた創造力や俯瞰力、変革力も必要です。本大学院では時代の要請に対応し得る様々な力を養い、学生一人一人が今後のキャリアを發展できるように互いに切磋琢磨していきたいと思えます。

今後とも引き続き、小川忍会長様をはじめ、会員の皆様からのご支援とご鞭撻をお願い申し上げます。

いのちを守り、

心に寄り添える

看護職の育成を

目指して

山梨県立大学看護実践開発研究センター

センター長 遠藤 みどり

平素より本センターへの多大なるご支援とご協力を賜り心より感謝申し上げます。

本センターは開設から13年目を迎え、看護職者の実践力向上を目指した研修事業の受講者も延べ1万人となりました。また認知症看護ならびに緩和ケア看護（閉講）の教育課程の修了生は409名となり、県内外の実践現場で活躍されております。さらに感染症に対する強靱な社会づくりの推進を目指す山梨県の要請を受け、特定行為研修を組み込んだ感染管理の認定看護師教育課程を令和5年4月に開設できるように準備を進めています。

どのような状況下であっても常に人々のいのちを守り、心に寄り添いながら、真摯に看護を提供できる人材の育成に向けて教職員一丸となつて取り組んで行きたいと思えます。新型コロナウイルス感染症の収束が見通せない状況ですが、白樹会会員の皆様におきましては少しでも平穏な日常でありますことを願っております。小川忍会長様をはじめ、会員の皆様のご健勝と白樹会の更なるご繁栄を心よりご祈念申し上げます。

在宅医療のチームメンバーとして

山梨市立牧丘病院 松 土 はつみ



私は教育現場を離れ、数年ぶりに週2日間訪問看護に携わっています。久しぶりの看護実践の場はとても新鮮であり、利用者や家族に関わる訪問看護師としての喜びを日々感じています。一方で自分のスキルや訪問看護師としての判断力が試されるのが訪問看護の現場です。今日の私の関わりや態度は、利用者や家族へのケアとして良かったのだろうか、利用者や

家族の思いを聴いていただろうかと振り返る毎日です。また、訪問先での看護実践は、緩和ケア認定看護師としての知識、技術を確し根拠のある看護を提供するための学びの場となっています。昨今の人道危機により、多くの方々の平穏な日常が脅かされていることに心が痛みます。平和な世界が訪れることを祈りつつ、病気や障害を抱えながらも住み慣れた場所で生活が続けられるような在宅医療のチームメンバーとして、多職種と協働し在宅看護を実践していきたいと思っています。

修了生

大学院での学びを活かしてー助産師の私としての祈りー

山梨県立大学大学院看護学研究科 博士前期課程 清水 有紗

私は現在、働きながら大学院に通っています。大学院では「出産体験の振り返り」を大きなテーマとして研究を進めています。出産は幸せな体験であると同時に自己概念を大きく揺るがすものでもあります。そこで助産師は出産体験の振り返りを行う中で、産婦の語りを傾聴し、産婦が出産体験を意味づけできるように支援していく必要があります。研究は大変ですが、学修したことを臨床で実践し、患者さんの反応を見ることができたときは本当に嬉しく、もっとよりよいケアはないかと向上心にもつながります。また、指導してくる先生方や大

学院の同期とケアを共有することは私の楽しみの一つでもあります。最後に、命の誕生に立ち会うことは神秘的であり、その支援ができる助産師という職業を誇りに思います。母子ともに安全・安楽に妊娠期を過ごし、満足のいく出産になることをこれからも「祈り」ながら、母子そしてその家族を支えていきたいと思っています。



大学院生

在宅看護の発展に貢献できることを目指して

山梨県立大学大学院看護学研究科 博士後期課程 田草川 純子



私は山梨県立看護大学4年生として本学を卒業後、病院看護師や行政保健師の経験を経て訪問看護師として訪問看護ステーションで働きながら、本学の修士課程に進学しました。そこで地域全体を広域的に捉えながら療養者のニーズに沿った実践について学び、在宅看護専門看護師の資格を取得しました。さらに、看護実践の効果をより明確に示すことを目標に学びを深めたいと思ひ博士後期課程に進学しました。

地域では様々な年代の医療依存度が高い在宅療養児・者が増えており、訪問看護師は住み慣れた家で自分らしく生活できるように個々に寄り添って支援をしています。私の研究も微力ながら在宅看護実践の一助になれるよう、引き続き自身の研究テーマと向き合い自己研鑽に努めていきたいです。そして、新生児から高齢者まで疾患の有無や独居等は関係なく、住み慣れた地域で誰もが安心して生活できることを「祈り」、これからも在宅看護の発展に貢献できることを目指していきたいと思っています。

大学院生

今年度の事業2

【国際交流支援活動報告】

ブラジル人学校での健康支援活動に参加して

看護学部で唯一、専門分野の海外実地研修に参加できる科目が「国際保健医療演習」ですが、コロナ禍の影響ですでに3年間、海外研修に行けていません。その間、国際看護担当教員としては「止めない国際交流」を合言葉に、日本においても国際看護を考えられるような講義や体験型イベントを企画してきました。現地で体感する学びや気付きには到底かきませんが、すでに多国籍・多文化社会となっている日本では、国内にいながらにして国際的な視野を持ち看護をすることの重要性を学ぶ機会があります。昨年度に引き続き、南アルプス市にあるブラジル人学校の健康支援活動に参加し、身体計測や握力計測、内科・眼科健診のお手伝いを行いました。以下、参加学生の学びをお届けします。

〈今回、日本で暮らす外国人の学校に訪れ、言葉の壁がある子どもたちへの身体計測等をサポートする中で考えさせられたことがあります。

まず感じたのは、ノンバーバルコミュニケーションの大切さです。採血針が刺さる恐怖から泣いてしまう子どもがいましたが、言葉の壁がある子どもに「頑張ったね」と声をかけるよりも、手を握ったり、タッチしたり、目を見てその不安に寄り添い、笑顔で接することが安心につながることで実感できました。また、外国人学校の先生が「子供たちの視力が低下しても、どの病院に行けばよいか分からない」と仰ったことが印象的でした。思うように受診できないことで視力矯正の機会が減り、ますます視力は悪化します。診察医は、言葉が分からない両親の代わりになる付き添い者がいるかなど丁寧に聞き取りをしていましたが、私は、自分の出身県の外国人が、どんな健康支援を受けどんな健康状態であるかも知らなかったことに気づき衝撃を受けました。同時に、日本で暮らす外国人の健康を意識して考える必要性を感じ、国際的な視野で看護を行う際にも、まずは身近なことに関心を持ち知らなければならないと感じました。貴重な体験をありがとうございました。〉

「国際保健医療演習」、「国際看護学」

(科目担当教員) 長坂香織・井川由貴

(看護学部3年生) 度会彩恵、黄玟 (看護学部4年生)、雨宮茉友子 (2022年3月)

【大学院生支援】



研究に励む大学院生に
図書カードをお渡ししました。

【リレーフォーライフジャパン2021 in甲府活動支援】



外部講師用飲用水を寄附しました。



山梨県立大学看護学部 同窓会「白樹会」 2022年度 通常総会のお知らせ

2022年10月23日（日） 11：00～（受付開始10：30）

会場 山梨県立大学看護学部（池田キャンパス）101講義室またはzoom

申込 ①申込フォーム（右QRコード読み取り）
②メール hakujyu@yamanashi-ken.ac.jp
③返信はがき（本誌同封）



〆切9月30日

のいずれか

白樹会通常総会は看護学部学園祭（聖灯祭）と同日に例年行っておりますが、今年度は聖灯祭への外部参加ができないことから20周年記念シンポジウムと同日に設定しました。

講演会について

例年通常総会のあと、講師をお招きして講演会を開催しておりました。
今年度は、看護学研究科開設20周年を迎え、シンポジウムが開かれます。
白樹会も後援となっておりますので、会員のみならず、ぜひご参加ください。
日時：10月23日（日） 13：00～ 場所：池田キャンパス講堂・zoom
オンライン参加等詳しい情報は、後日白樹会HP（<https://www.hakujukai.net>）に掲載しますのでご覧ください。

申込はこちら



山田光子教授の 最終講義ご報告

2022年3月8日、池田キャンパス講堂において開催された山田光子教授の最終講義のテーマは「看護管理の魅力」でした。看護職として19年、看護教育24年、通算43年間の看護に対する思い、看護管理として組織の活性化の基盤となる一人ひとりの人間力が発揮できるように、共に考え共に喜ぶことを大切にされてきた山田先生の信念に触れるすばらしい講義でした。



最終講義のお知らせ

長年本学の教育に携わってこられた遠藤みどり教授と長坂香織教授が2023年3月をもって退官されます。最終講義を下記の通り開催いたしますのでご案内します。
なお、申込等詳しい情報は改めて大学および白樹会HPに掲載いたします。

遠藤みどり教授 最終講義

日時：2023年3月14日（火） 14：00～15：30
場所：池田キャンパス・講堂

長坂香織教授 最終講義

日時：2023年3月9日（木） 14：00～15：30
場所：池田キャンパス・3号館LL教室

「白樹会基金」を設立します。

ただいま、基金規定を整備しております。

山梨県立大学大学院看護学研究科

2023年度博士前期課程・博士後期課程募集

詳しくは、「山梨県立大学大学院」を検索
<http://www.graduatenuresing-yamanashiken.com/>



山梨県立大学看護実践開発研究センター

認知症看護A課程募集中 感染管理B課程準備中

詳しくは <https://rcdnp.yamanashi-ken.ac.jp/>



同窓会幹事代行『Reフレンズ』

同窓会をしたいけど、幹事は大変・・・
そんな幹事様の声にお応えして、
サラトが幹事の仕事を代行いたします！
まずは、お気軽にお問い合わせください。



同窓会専用
ホームページ
開設
パスワードでログイン
セキュリティも安心

当日までの雑務は
すべて
おまかせ

案内状を
出したくても
住所が分からない
そんなケースにも
対応！

お問い合わせ 株式会社 サラト 同窓会プロデュース専用

TEL0120-953-070

受付時間 月～金 9:30～12:00/13:00～17:00

WEB サラト

「サラト」で検索。同窓会幹事代行
Reフレンズのバナーをクリック。



株式会社 サラト

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町172番地
Tel.079-284-1380 Fax.079-288-4834

編集後記

感染対策を講じ、大学のなかを学生が行き交う当たり前の光景が戻ってきております。それまで一人自宅でリモート講義を受けていた学生は、「一人は孤独で不安だった。皆と一緒に講義を受けられることが楽しい」と目をキラキラさせています。場を共有することの大切さ、日常のなかの見直すべきところ、改めて大切なことを再認識する一年でもありました。混沌とした世界情勢のなか、皆で知恵を出し合い、白樹会活動を継続できること、今年も会誌を同窓生の皆様にお届けできることに改めて感謝申し上げます。

今年のテーマは「祈り」でした。全国各地でご活躍し、母校の発展を温かく見守って下さる同窓生の皆様の声を届け合い、つながりあえる会誌であり続けたいと思っております。今後とも、事務局員一同、活動の充実に向けて努力致しますので、お力添えをお願い申し上げます。

編集委員一同

同窓会白樹会の活動に関する
ご意見、ご要望をお聞かせください。

